

# 児童生徒用デバイスの活用について（2025-2026年度）

2025年4月  
JSKL 情報教育部

## 1. 本校の基本方針

- 本校では、Chromebook や他機種のもつ仕様、学校教育活動で必要となる機能等を総合的に判断し、中学部ではChromebookを使用すること、小学部ではChromebookを含むデバイスを使用することを基本方針として進めています。
- 本校では、日本の文部科学省のGIGAスクール構想をもとに、在日の学校に先駆け、2018年ごろからICT教育を学校の柱として進めてきました。COVID-19の感染拡大によって休校になったときも、導入されていたChromebookやiPadを各ご家庭でご利用いただくことで、オンライン授業を行うことができました。今では多くの小中学校で一人一台のデバイスが準備されていますが、今後数年のうちに、本校を含む多くの学校で、GIGAスクール構想のときに整備したデバイスが寿命を迎える時期を迎えます。現在日本の各自治体では、自治体の財源のみでデバイスを購入（またはリース）していくのか、各ご家庭でデバイスを購入してもらうのか、という判断に迫られています。そこで多くの学校で検討されているのが、BYOD (Bring Your Own Device) またはBYAD (Bring Your Assigned Device) という、「自分で使用しているデバイスを学校に持ち込んで、学習に使用する」という方法です。本校は日本の学校の動向、世界的情勢を鑑み、BYOD・BYADを推進してまいります。

## 2. 使用するデバイスの計画（概要）

学部/学年	2025年度	2026年度
幼稚部(年長)	iPad 貸出	iPad 貸出
小1,2年	iPad 貸出	iPad 貸出
小3,4年	デバイス持参 or Chromebook 貸出	デバイス持参 or Chromebook 貸出
小5,6年	デバイス持参 ※キーボード付属	デバイス持参 ※キーボード付属
中1年	Chromebook 持参	Chromebook 持参
中2年	Chromebook 持参	Chromebook 持参
中3年	Chromebook 持参	Chromebook 持参

※デバイス持参：Chromebook や iPad などのデバイスを持参。※Chromebook 持参：Chromebook のみ持参。

## 3. 2025年度の計画（詳細）

学部/年	使用計画・方針
幼稚部 (年長)	<b>【iPad を活用】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・教育活動の中で、教具として iPad を活用します。</li><li>・複数台を、クラス内で共同で利用します。 (ご家庭でご準備いただく必要はありません。)</li></ul>
小学部 1,2年	<b>【iPad を学校より貸し出し】</b> <ul style="list-style-type: none"><li>・1人1台ずつ貸し出します。(ご家庭でご準備いただく必要はありません。)</li><li>・発達段階に合わせ、写真を撮ったり、画面に書き込んだりする活動を行います。</li><li>・iPadの方が、アプリを使うことができ、直感的な操作で扱うことができます。</li><li>・家庭での購入は負担が大きく、持ち運びや管理が大変なため、本校にて準備し、貸し出しを行います。</li></ul>

小学部 3,4年	<p>【デバイスを各自で持参、またはChromebook (iPad) を貸し出し】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持参するデバイスの種類は特に指定しません。(機種に依存しない活動が多いため。)</li> <li>・貸し出すデバイスは主に Chromebook です。発達段階に合わせ、直感的に操作できる iPad よりも、Chromebook は機能性が高くパソコンに近い操作ができるためです。</li> <li>・小学3年生でローマ字を習うため、タイピング入力をする機会が増えます。キーボードがついていない機種については、物理キーボードのご準備をお願いいたします。(ケースとキーボードが一体になっているものなどでも構いません。)</li> </ul>
小学部 5,6年	<p>【全員デバイスを持参してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持参するデバイスの種類は特に指定しません。(機種に依存しない活動が多いため。)</li> <li>・タイピング入力をする機会が増えます。キーボードがついていない機種については、物理キーボードのご準備をお願いいたします。(ケースとキーボードが一体になっているものなどでも構いません。)</li> <li>・宿題等で家庭での活用も増えてまいります。個人購入にご協力ください。</li> <li>・中学部は Chromebook を持参となっております。操作に慣れるためにも、中学部に進学する予定がある場合は Chromebook のご購入をお勧めします。</li> <li>・忘れた場合、故障の場合などは Chromebook を貸し出しいたします。</li> </ul>
中学部	<p>【全員 Chromebook を持参してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Chromebook でしか使えない機能を授業やテストで多く使っていきます。</li> <li>・Chromebook は他の機種よりも学校生活に適していると考えています。(P.4 参照)</li> <li>・忘れた場合、故障の場合などは Chromebook を貸し出しいたします。</li> </ul>

#### 4. 2026年度の計画（詳細）

学部/年	使用計画・方針
幼稚部 (年長)	変更なし
小学部 1,2年	変更なし
小学部 3,4年	変更なし
小学部 5,6年	変更なし
中学部	変更なし

#### 5. 活用事例・使用について

##### (1) 本校での活用事例

- ・Classroom を使って、各教科や委員会などの連絡の配信、課題の配付、提出をしたりする活動。
- ・インターネットを使って調べ学習をする場面。
- ・調べたことや学習したことを、スライドやドキュメント、動画にまとめて共有・発表する活動。
- ・スプレッドシートやスライドを使って、学級会や話し合いをする活動。
- ・スプレッドシートを使って、実験などの数値を表やグラフにしてまとめる活動。
- ・身のまわりの植物や物体などを撮影し、それを共有する活動。
- ・体育や JSKL 活動などで、自分の動きを録画して再確認したり、他と比較したりする活動。
- ・Meet を使って、オンライン授業を受けたり、授業を繋いだりする場面。
- ・単元テストや定期テストを受ける場面。(Google のロックモードを使用)
- ・Google カレンダーを使って、各教科の予定や学校の行事などを共有する活動。
- ・情報リテラシー、情報モラルについて学ぶ活動。

## (2) デバイスの使用について

- ①ご家庭から持参していただくデバイスには、管理ソフトを入れることはしません。ご家庭での個人的な使用を制限することは一切ありません。ご家庭での使用について、必要であればお子さんとルールを設定をおねがいします。
- ②持参していただくデバイスを学校で充電するスペースは設けていません。充電はご家庭で行っていただきます。充電が切れた場合などは、学校にあるデバイスを貸し出します。
- ③学校が貸し出すデバイスを持ち帰ることはできません。よって、家庭で課題に取り組んだり、連絡等を確認したりする場合には、ご家庭でデバイスが必要になります。
- ④小学部高学年、中学部の児童・生徒は個人持ちのデバイスを、毎日必ず持参してください。授業内では学習内容に合わせて活用しますが、自主学習や委員会活動、連絡等で使用する可能性があります。持参する必要のない日については、担任と児童・生徒とで確認いたします。
- ⑤学校内においては、学校生活に関係のない使い方はしない、他人に迷惑のかかる使い方はしない、という原則で使用していきます。デバイス使用上のルールを別紙にて決めています。(ウェブサイト/学校生活情報/3デバイスについて「[デバイス利用のルール](#)」参照)
- ⑥PCは初期不良や破損等により、修理が必要になることがあります。もし可能であれば、購入時や購入後に保険に加入することを検討されると良いかと思います。

## 6. 購入・準備について

- ①Chromebookをご準備する際には、次のことにもご留意ください。
  - ・主なメーカーは、Acer、ASUS、HP、DELL、Lenovo などです。
  - ・画面サイズは9～14 インチを推奨します。※あまり大きいと机上のスペースがせまくなります。
  - ・コンバーチブル(画面が360°回転する機能)は、どちらでも可です。
  - ・Meetを使用することがあるため、インカメラが必要です。アウトカメラはどちらでも可です。
  - ・バッテリーは、8時間以上が目安です。
  - ・無線LAN(Wi-Fi)接続に対応している必要があります。
  - ・RAM(メモリ)は8GB以上、ストレージ(SSD、HDD、MMC)は32GB以上を推奨します。
  - ・日本語入力に対応している必要があります。
  - ・マウスがあると便利です。(中学部では2割程度の生徒が使っています)
- ②Chromebook以外のデバイスをご準備する際には、次のことにもご留意ください。
  - ・主なメーカーは、iPad: Apple、Windows PC: Acer、ASUS、HP、DELL、Lenovo などです。
  - ・画面サイズは9～14 インチを推奨します。※あまり大きいと机上のスペースがせまくなります。
  - ・コンバーチブル(画面が360°回転する機能)は、どちらでも可です。
  - ・Meetを使用することがあるため、インカメラが必要です。アウトカメラはどちらでも可です。
  - ・バッテリーは、8時間以上が目安です。
  - ・無線LAN(Wi-Fi)接続に対応している必要があります。
  - ・日本語入力に対応している必要があります。
  - ・タッチペン、マウスなどの購入は任意です。
  - ・スマートフォンは画面が小さく授業等では使いづらいため、持参するデバイスには向きません。

※現在小学部4年生以下でも、今後のJSKL在籍期間を可能な範囲内で考慮していただき、Chromebookの購入を検討されることをお勧めします。
- ③デバイス購入・準備について(全機種共通事項)
  - ・破損を防ぐため、本体を保護するケースの購入をお勧めします。
  - ・デバイス本体やケース、イヤフォンなどには記名をお願いします。
  - ・有線イヤフォンも合わせて準備してください。中学部の皆様にはイヤフォンの準備を必須とさせていただきます。(ウェブサイト/学校生活情報/3デバイスについて「[イヤフォンのご準備のお願い](#)」参照)高音質である必要はないので安いもので大丈夫です。有線イヤフォンのため、本体にイヤフォンを挿す端子が必要です。
  - ・購入先として、オンラインショッピング(メーカー直販サイト)、Mall内のShop等があります。
  - ・卒業・転出の予定が決まっておりそれまでの日数が半年以内の場合や、編入してからしばらくの間(購入されるまでの期間)は、学校にある予備機を貸し出すことが可能です。しかし予備機の台数にも限りがあるため、できるだけご購入にご協力ください。

## 7. その他

①Chromebook などのデバイスの耐久年数については、次のように言われています。耐久年数が近くなると、動作の不具合のほかに、バッテリーの寿命が問題となってきます。バッテリーを長持ちさせるには、過充電をしないこと、充電をしながら使わないこと、などがあげられます。適切な充電方法を継続することで、デバイスを長期間使うことができます。

②本計画は、現在の Chromebook や iPad の仕様と、本校のデバイスの状況をもとに立てた計画であるため、2025 年度以降の計画については変更になる可能性があります。

③Chromebook と他のデバイスとの比較

	利 点	欠 点
Chromebook	安価である。 堅牢性が高い。 セキュリティが高い。 バッテリーの持ちが良い。 Google との相性が良い（操作性◎） iPad よりも PC に近い使い方ができ、 PC 活用の導入として適している。	Windows PC よりも機能が限定的である。 オンラインで使うことが前提である（オフラインでも使用可）
iPad	多くのアプリに対応。 直感的に操作できる。 世界的に普及している。 カメラがきれい。	高価である。（RM～） 本体やアプリの機能を超える使い方はできない（機能が限定されている）。 タイピングには物理キーボードが必要。
Windows PC	会社などで広く使われている。 多くの機能を持っており、さまざまなことができる。 高校生や社会人など、ある程度 PC を使いこなせる人にとっては利便性が高い。	高価である。 バッテリーの持ちがよくない。 機能が多く、使いこなせないことやトラブルが多い。 セキュリティが高くない。